

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備 係
事務事業名	新磯地区基盤整備事業		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした農業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	11年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

土地改良法
-------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
農振農用地域内において、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進するため、基盤整備促進事業(国庫補助)を実施する。 事業実施年度(平成11年度～平成14年度)		新磯地区農地所有者	
		対象数	186名
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
新磯地区橋梁架替及び水路改修工事 工事延長 L=1669.65m 幅員 W=0.30～5.00m 水路工 1070.85m 農道工 598.80m		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	整備率		
指標式	評価対象年度までの事業費の合計 / 総事業費 × 100		
指標設定の意図	全体事業量に対する各年度までの実施状況を把握することでの整備率を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	32	70	a 85	b 85	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	85,359	101,484	37,989	37,989	40,410
	人員・時間数	720時間	640時間	160時間	160時間	160時間
	人件費	3,010	2,675	669	669	669
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	88,369	104,159	38,658	38,658	41,079
特定財源	57,810	66,660	18,275	18,275	20,205	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{84.8}{84.8} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	当該地区は昭和30年頃に土地改良を行った地区であるが、施設の老朽が激しく、地元農家からの要望もあり、早急に整備する必要がある。また国庫補助を導入することにより短期間で速攻性のある事業展開が可能となる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：	本事業を行うことにより、通水の確保等が図られ、維持管理費の減少につながる。また国庫補助金を導入しており、安定した歳入の確保が可能であるため、経済的にも優れている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	農道や水路の機能管理については、市で行うことが地方自治法に定められているので、市で実施していくことが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	本事業の実施により、施設の機能回復及び農業の生産性の向上や農業経営の安定につながる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	基盤整備促進事業は農業の生産性向上や農業経営の安定を目的としていることから、都市農業を図る上で必要であり根幹をなすものである。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 現在、国の方針では環境に配慮した整備を促進しており、本事業においても同様のことを導入することにより、更なる成果向上につながると思われる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 工事費については、公共工事コスト削減を例年行っているため、改善余地はある。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	本事業は当初県費補助を導入して行う予定であったが、整備区域が広範囲であるため国庫補助(補助率国50%, 県17.5%)を導入し、工期の短縮及び経費の節減につながった。また財政状況が厳しい中、整備を円滑に進めることが出来た。 また基盤整備の実施で通水の確保及び農道の幅員の確保, 舗装化が図られ、維持管理費の減少、生産性の向上、農業経営の安定化につながる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点